

豊中市立第十五中 学校だより 一期一会



十五中には

ビオトープがある！

池・樹木・畑をにぎやかに生かす生物たち



→ 10/28、30 ビオトープの整備(2年生)
池の清掃と生物の観察、藤棚や樹木の整備など
を職場体験の一環として行いました。

【十五中の“宝”】

ビオトープと聞くと「池」を想像する人が多いですが、ドイツ語「bios(生き物)」と「tops(場所・空間)」を合わせた造語で、池に限らず、樹木、畑などの生物が生息する場所をさします。

正門横のビオトープと園庭が完成したのは、1999年9月、創立21年目の秋でした。それまでの十五中は「荒れていた時期もあり、生徒や教職員は良い学校づくりのために一生懸命でした。「花や緑がいつぱいの環境をつくれば、必ず生徒の心の良い影響を与える」と、学校・PTA・地域の方々によるビオトープづくりが開始されたということ。それから26年、豊かな環境が引き継がれてきました。さまざまな生物や植物、樹木が宿るこのビオトープは、十五中の“宝”と言えるでしょう。

【地域や社会とともに】

2年職場体験から

「職場体験いいですね。生徒さんが頑張る姿をあらわらで見かけます」と地域の方で声をかけていただきました。園や施設などでは、園児や利用者さんたちとのふれあいの中で、良い表情が多くありました。最初は小さかった声が、体験を重ねていく中で堂々と声を出せるようになって、主体的に動いたりなど、成長もあつたと聞きました。「地域や社会に貢献する」という実感は、家庭生活や中学校生活だけでは得られにくいものです。職場体験では、人々との触れ合いの中で、地域の良さ、社会とのつながりを感じる場面が多くありました。あらゆる仕事には、社会や地域と関わり、支える役目があります。また地域の人から支えられて仕事は成り立っているという面もあるのです。生徒のみなさんには、自分や学校から視野を広げ、地域や社会の課題に目を向け、考え、良くしていこうとする力をこれからも培ってほしいことを願っています。

【10/31生徒集会】

各クラブの表彰のあと、後期生徒会の認証式があり、新執行部よりあいさつがありました。「そのあなたも執行部」を合言葉に、あいさつ運動の継続や、取組みの説明がありました。

各委員会からは、後期の取組みの紹介がありました。体育委員会は、音楽に合わせて登場(手拍子も起こりました)、楽しくテーマ紹介を行いました。

発表する生徒、聞く生徒、ともに目を輝かせ、いきいきとした姿が印象的でした。

【11/1いちごフェスタ】

よそおいも新たに開催した今年のフェスタ。地域の各団体の出店・出演に加えて、十五中からは、美術部、女子テニス部、バドミントン部が出店。大にぎわいの模擬店でした。

ステージの部では、吹奏楽部のほか、歌やダンス、楽器演奏など、中学生の有志が4組出演。手拍子や声援の中、精一杯のパフォーマンスで盛り上げました。

地域が一体となって取組んだフェスタでした。ご協力いただいた皆様にご挨拶を申し上げます。



ことばの泉⑩



何かとお祭りの多い秋ですが、地域のお祭りもそろそろ終盤でしょうか。さて、「タイヤ祭り」の「のぼり」を町で見かけた幼い甥っ子に「これは何のお祭りのこと？」と聞かれたことがありました。

「特価でご奉仕しますので、みなさんお越してください」という意味を、「祭り」という言葉で表すのは「言い得て妙」(＝実にうまく言ったもの)だと感じます。

11月に入り「大感謝祭」という言葉もよく目にします。景気が回復し、良い年末になればと思うこの頃です。

まつり【祭り】(名) ①まつ(祭)ること。②神靈に奉仕して霊をなぐさめ、また、いのる儀式。また、それともなうにぎやかな行事。③人の多く集まる、特別の催しもの。「ゆかた —」「区民 —」

参考…三省堂国語辞典第七版→